

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療安全管理学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎 901教室
担 当 教 員	吉田 昌裕	実務経験と その関連資格	近畿中央胸部疾患センターで診療放射線技師として従事した。			
《授業科目における学習内容》						
医療安全に関するヒューマンエラー、チーム医療、医療安全の質の向上など基本的な考え方を学び、医療事故発生後の対応やエラーの分析法、安全教育についての考え方や手法について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
受講態度、課題レポートを総合的に評価する。評価の基準は、この授業で達成すべき目標をどの程度理解したかによる。						
①素点(筆記試験) 70%						
②出席評価点 20%						
③平常点(授業へ取組む姿勢) 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
参考文献:WHO患者安全カリキュラムガイドライン多職種版						
《授業外における学習方法》						
ヒューマンエラーは生活する中でも数多く存在します。日ごろから自身の行動を見つめなおすことで、なぜエラーが発生するのかを考えてみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
医療人になるために、医療現場ではどのような事故が発生しているのかを知る必要があります。自身でもできるだけ興味をもって調べてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	診療放射線技師が起こした医療事故から学び対策を立案できる	授業中にプリントを配布する		授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	診療放射線技師が起こした医療事故(1)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	診療放射線技師が起こした医療事故から学び対策を立案できる	授業中にプリントを配布する		授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	診療放射線技師が起こした医療事故(1)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急の現場を診療放射線技師の目線から考え理解する	授業中にプリントを配布する		授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	診療放射線技師がか関わる救急医療Ⅰ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急の現場を診療放射線技師の目線から考え理解する	授業中にプリントを配布する		授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	診療放射線技師がか関わる救急医療Ⅱ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	チームステップスを用いたチーム医療と医療安全を理解する	授業中にプリントを配布する		授業で配布したプリントを用いて自宅でも学習する
		各コマにおける授業予定	チームステップス			

